

令和 8 年度地域住民研修会実施計画（案）

令和 6・7 年度の 2 か年にわたり、全市民センター 11 か所において、「地域住民座談会」を開催しました。本座談会では、地域福祉総合計画の概要を説明するとともに、地域共生社会推進審議会委員をファシリテーターとして地域の歴史や文化について地域住民で話し合い、地域の新たな発見をしていただきました。

今年度は、地域福祉コーディネーターをファシリテーターとして、地域の課題や魅力を考えていただくことを目的に、下記のとおり地域住民研修会を実施します。

記

1 実施概要

(1) 研修会名称

「Hi 地～図！」～話そう！作ろう！○○（地域名）の未来図！～

(2) キャッチコピー

『地図を作れば、地域が見える。みんなで話せば、未来が見える。』

(3) コンセプト

「Hi 地～図！」は、参加者同士が地域の魅力や課題、将来への思いを一枚の地図に描き出す参加型ワークショップ。

地域を知る人はもとより、これまで地域活動に関わる機会が少なかった人にも参加いただき、一緒に地域について語り合うことで、新たな気づきやつながりを生み出し、「自分にもできること」を見つけるきっかけとなることを目指す。

完成した地図は、参加者一人ひとりの思いが詰まった「地域の未来図」であるとともに、地域の魅力や課題、将来像を可視化した「住民参加型の地域アセスメント」として、重層的支援体制整備事業における今後の地域づくり事業の資料として活用する。

2 実施の目的

地域共生社会の実現に向け、地域住民が集い、地域について話し合い、自身が住む地域を振り返り、どんな未来を目指したいか、それに向けてどのようなことができるか、どんなことがやりたいかを考える機会を創出し、地域について考え、行動する人を増やす。

3 実施により期待される効果

- (1) 楽しみながら参加できるワークショップ形式を取り入れることで、普段研修会等に参加しない住民にとっても参加しやすくなり、より多くの方に地域のことを考えてもらう。
- (2) 参加し、話し合うことで、地域活動に興味・関心を持つ住民を増やす。
- (3) 地域活動に参加、始める住民が増えることで多様な地域活動が創出され、住民同士のつながりや支え合いのさらなる充実を期待できる。

4 実施時期および実施場所

令和8年度から令和9年度の2か年にわたり、全市民センター11か所で実施する。今年度は、令和8年10月から令和9年3月までの期間に、市民センター6か所での開催を予定する。

- (1) うえるびー（ikippa）担当地区（長淵地区、梅郷地区、東青梅地区、河辺地区）のうち2か所の市民センター
- (2) 青梅市社会福祉協議会担当地区（青梅地区、大門地区、沢井地区、小曾木地区、成木地区、新町地区、今井地区）のうち4か所の市民センター

5 参加者募集方法

参加者の募集については、チラシ、市ホームページ、市広報誌で周知し、専用フォームもしくは電話受付を行うが、当日参加も可とする。

6 実施概要

- ・ 参加者20～30名程度を4グループに分け、各グループに地域福祉コーディネーターを配置する。
- ・ 地域共生社会についての簡単な説明、自己紹介、アイスブレイクを行った後、開催地区の地図（A0サイズ）を使用したワークショップを実施する。
- ・ 各テーマ20分程度話し合い、透明シートを地図の上に重ねて記入する。下記テーマごとにシート及びペンの色を変更することで、終了後にはテーマ別・グループ別双方の視点から内容を振り返ることができる。
 - ① これが地域の推しポイント！
地域の好きな場所や歴史、おすすめスポット、集いの場など、地域の魅力を自由に書き込む。⇒地域資源の把握
 - ② ここが気になる！地域の？（ハテナ）と心配
防災、防犯、生活上の不安や課題など、気になる点や改善したい点を書き込む。⇒地域課題の可視化
 - ③ だったらいいな！未来の〇〇（地域名）
地域の魅力や課題を踏まえ、将来こんな地域になってほしい、そのために必要なことを自由に話し合う。⇒地域の方々が望む将来像（未来図）の共有
- ・ 全テーマ終了後は、各グループが作成した地図を自由に見学し、担当する地域福祉コーディネーターが内容を簡単に紹介する。
- ・ 最後にアンケートを実施し、感想やこれからの地域について、自分ができること、したいことなどの思いを記入してもらい、終了とする。

7 成果物の活用

完成した地図は、住民の思いや地域資源が見える化した資料として、地域福祉コーディネーターによる地域アセスメントに活用していくこと。

また、公共施設への掲示や媒体への掲載など、地域の方々への情報発信としての活用方法についても検討したい。

8 研修会の特徴

- ・ 楽しみながら参加できる参加型ワークショップ
- ・ 地域資源・地域課題・将来像を一枚の地図で可視化
- ・ 住民同士の交流と新たなつながりづくり
- ・ 地域アセスメントとしても活用可能
- ・ 成果物を今後の地域づくりや地域福祉活動へ展開可能

9 当日スケジュール（例）

14:00	開会のあいさつ
14:02	主旨説明（地域共生社会の推進について）
14:08	地域のはなし（各地区の住民による） 例：防災士の方による防災の話・歴史研究をされている方の話 など
14:15	自己紹介・アイスブレイク
14:20	地図作りの説明
14:25	地図作り①「これが地域の推しポイント！」
14:45	地図作り②「ここが気になる！地域の？と心配」
15:05	休憩
15:10	地図作り③「だったらいいな！未来の〇〇」
15:30	各グループの完成した地図見学 （紹介は地域福祉コーディネーター）
15:55	アンケート記入
16:00	総評・閉会のあいさつ

以 上